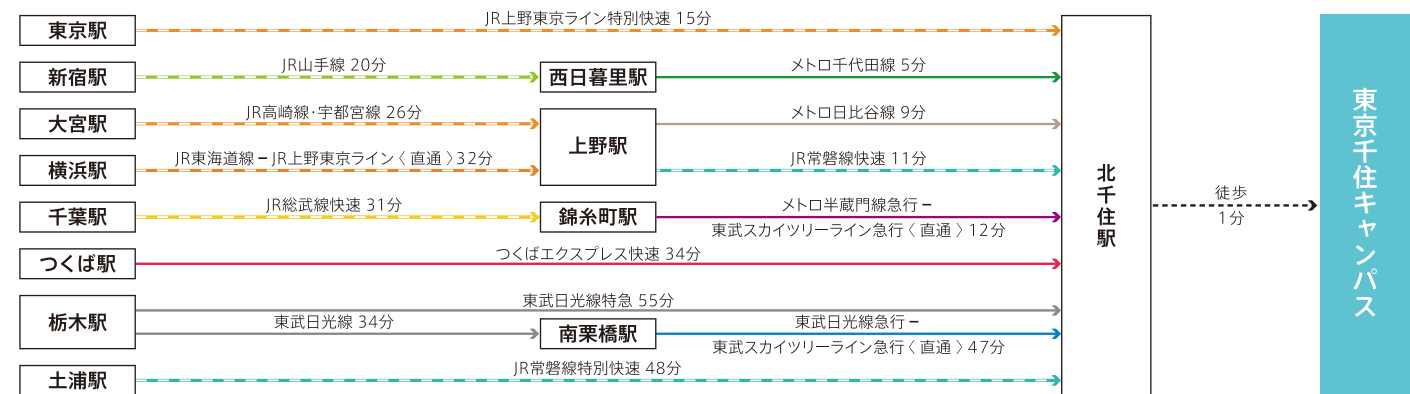
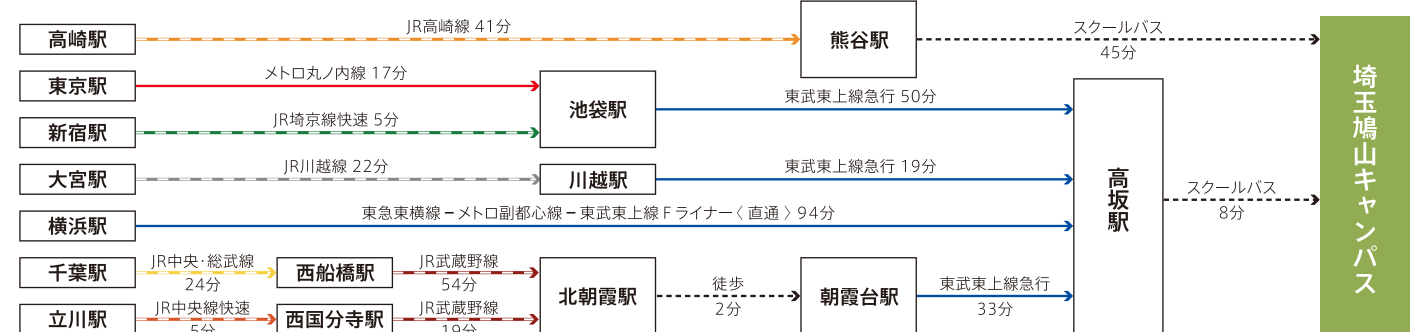


[illegible]

6路線利用可能！ 駅から徒歩1分！



4駅から無料スクールバス運行!



TDU 東京電機大学

● システムデザイン工学部 ● 未来科学部 ● 工学部 ● 理工学部 ● 工学部第二部 ● 大学院





“技術は人なり”の理念のもと、 技術で社会に貢献する 人材の育成に努めております。

2025年12月

東京電機大学 学長 射場本 忠彦

貴社におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、学生の就職につきましては、平素より格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今春の本学卒業予定者につきましては、企業様・団体様のお力添えのもと、お陰様で各方面においてご採用いただきました。本学学生をご採用いただきました、企業様・団体様におかれましては、この場をお借りして厚く御礼申し上げる次第です。

鑑みるに、人の一生からすると学生として過ごす時間に比べ、職業人として生きる年月の方が格段に長いわけですし、また、職業人としての力量は一層明白に評定されるのが常ですから、端緒となる『就活』に係わる尽力は、企業様も学生側にとっても真剣にならざるを得ません。いうまでもなく、少子高齢化の進行による人手不足は大きな社会的課題ではありますが、一方で、企業力の成長変革に伴い、工場閉鎖や希望退職者を募るなどの報道も目に入ります。とは言え、『人』に対する期待はいつの時も変わるものではありません。

本学は1907年(明治40年)9月に創設し、建学の精神として“実学尊重”を、さらには教育・研究の理念として“技術は人なり”を掲げております。建学以来118年を越えて、その理念に基づく教育を実施することにより、技術で社会に貢献する人材の育成に鋭意努めております。

つきましては、ここにあらためて新年度の「求人票」と、併せて本学の特色をしたためました「求人のためのご案内」をお送りさせていただきます。貴社におかれましては、なにとぞ、本学の特色をご理解いただき、次年度卒業予定者のご採用におきましても、倍旧のご高配を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

技術は人なり

東京電機大学の教育・研究理念として主軸にあるのが初代学長である丹羽保次郎が唱えた“技術は人なり”です。「よき技術者は人としても立派でなければならない」、つまり、技術者である前に社会の一員として、人として、常に成長しなければならないということです。この理念を胸に刻み、東京電機大学は、日本をはじめ世界で活躍する多くの技術者を育成し続けています。

実学尊重

建学の精神である“実学尊重”は学問としての技術を極めるのではなく、技術を通して社会に貢献できる人材の育成をめざすというものです。このため本学では充実した実験・実習科目を配当し、1990年には他大学に先駆けてものづくり体験授業「ワークショップ」を導入。このほか「フィールド教育」や「プロジェクト科目」など、学生の創意工夫の力を育てる教育を数多く取り入れています。



初代学長 丹羽保次郎 先生 profile

1893年、三重県生まれ。1916年、東京帝国大学工科大学電気工学科卒業。通信省電気試験所、日本電気株式会社に勤務。1924年に欧米を視察。帰国後、写真電送の研究に取り組み有線写真電送装置を発明した。1928年、昭和天皇即位式の写真の電送に日本で初めて成功。1949年、東京電機大学初代学長に就任。日本の十大発明家(特許庁)に数えられる。

東京千住キャンパス

最新環境が整った都心型のスマートキャンパス

- システムデザイン工学部
- 未来科学部
- 工学部
- 工学部第二部(夜間部)

- システムデザイン工学研究科<修士課程>
- 未来科学研究科<修士課程>
- 工学研究科<修士課程>
- 先端科学技術研究科<博士課程(後期)>

SENJU



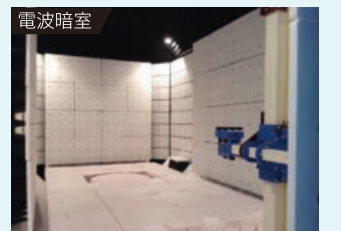
ものづくりセンター千住
本学の「ものづくり」の中心として、学生が研究、製作に利用できる充実の施設を提供。技術スタッフが常駐してサポートしています。



最先端機器を設置



ワークショップ教室
各学科で、1年生から実際に手を動かし「ものづくり」を経験するワークショップの授業を実施しています。



電波暗室
電波を吸収する物質からなる電波吸収素材を全面にはりつけた実験室で、部屋の壁からの電波反射のない理想的な実験環境を作り出すことができます。

埼玉鳩山キャンパス

東京ドーム8個分の広さを有する快適なアクティブキャンパス

- 理工学部
- 理工学研究科<修士課程>
- 先端科学技術研究科<博士課程(後期)>



埼玉鳩山キャンパスでは、最寄りの主要駅(高坂駅、北坂戸駅、鴻巣駅、熊谷駅)から無料でスクールバスを運行しています。高坂駅からのスクールバスの本数が最も多く便利です。

HATOYAMA



ものづくりセンター鳩山
本学の「ものづくり」の中心として、学生が研究、製作に利用できる充実の施設を提供。技術スタッフが常駐してサポートしています。



3Dプリンタを利用する学生



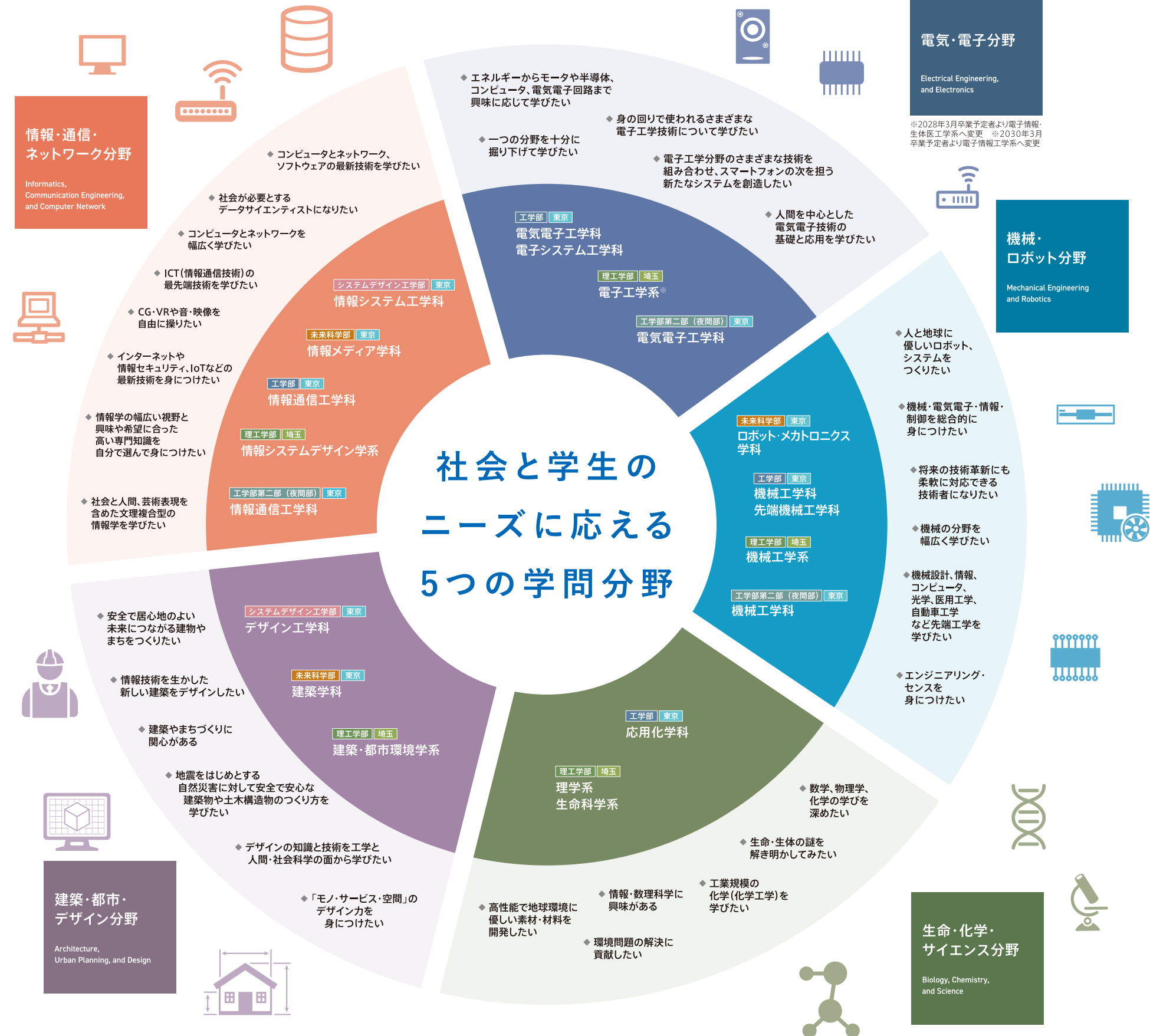
分析センター
高速液体クロマトグラフィー、電子顕微鏡など、材料特性を測定・評価する機器を共用機器として開放、自由に利用できます。



低軌道周回衛星用地上局システム
人工衛星で計測された情報を受信し、宇宙工学に関する研究や教育に活用しています。

大学独自の取り組みと、学生たちの活躍が

現代の最先端テクノロジー、社会や生活を支えるインフラ、人の命を守り育む取り組みなど、数多くの技術や知識を網羅する学問分野が本学には揃い、日々進化を続けています。その基軸となっているのが教員と学生、さらには学生自身による「ものづくり」への取り組みです。ワークショップや実習・演習といった自らの手を動かしながら知識や理解を深めていく授業を数多く取り入れ、それを土台に学生たちは外部のコンテストやプロジェクトにも積極的に参加して実績を上げています。



5つの学問分野を充実させ続けています。

情報系の技術を活用して、美容の未来の姿を提案する研究に取り組む。

大手化粧品メーカーとの共同研究が進んでいます。例えば、「隠れシミ」などが確認できる紫外線画像。これは現在、専用の高価なカメラでしか撮影できませんが、スマートフォンで撮影した画像から得られるようにする技術の開発に取り組んでいます。そのほかにも、メイクをしたまま素顔の画像を得る方法、スキンケアを続けた先にどのような変化が期待できるのかという未来予測や、髪のキューティクルの研究も進行中。また、美容の分野にAI(人工知能)を用いる研究にも取り組んでいます。



身につけた知識や技術で、学内でも、学外でも、学生たちが活躍。

2024年3月、第1回のデザイン工学科 学科展として、学内の電大ギャラリーにおいて卒業研究・修士論文の成果展示を行いました。約20名の学生が授業で学んだ知識を基に、展示スペースのデザインからWebサイトの企画などまで全てを担当しました。また、建物のリノベーションの企画、設計から施工までを行う学生団体DaBoに建築学科の学生が参加。箱根湯本で行われている薬局兼アパートを改修するプロジェクトでは、設計や3Dモデリング、CADなどの知識を実践に役立てています。



CO2の増加による地球温暖化の問題に、エレクトロニクス力でアプローチする。

地球温暖化対策のために、代替エネルギーとして、燃やしてもCO2を出さない水素に期待が高まっています。現在、水素の貯蔵・輸送には、メチルシクロヘキサン(MCH)が使われます。MCHは、水素とトルエンを結合させたもので、常温で液体、リスクも少なく効率よく運べます。使用前にMCHから水素を取り出すわけですが、その装置が脱水素装置です。加熱して気化させることが必要であり、効率的、安定的に行うために、誘導加熱(IH)を使う研究に取り組んでいます。



世界各国から集った多国籍混成チームでロボットを製作し得点を競う。

IDCロボットコンテストは、世界の大学生が集まってロボット製作と競技を行うイベント。第34回大会はインドのアムリタ大学が会場でした。世界各国の大学生が、国や大学は関係なく8つのチームに分かれ、英語でコミュニケーションを取りながらアイデアを出し合い製作。コナツツに見立てたカラーボールを収穫するロボットと地上で回収するロボット2種類をつくり得点を競い合いました。3DCADを用いた機構設計、プログラミングなどで本学学生が大いに力を発揮しました。



国立西洋美術館所蔵の世界的絵画を、非破壊、非接触で分析調査。

国立西洋美術館との共同研究として、所蔵されている複数の絵画作品の研究調査が行われています。絵画の色材を明らかにするために蛍光X線分析を中心に行っており、美術館の休館日を利用し、数日間かけて非破壊かつ非接触で調査をします。絵画分析の目的は、修復のための情報収集、作者や制作年代の推定などさまざまですが、色材の含有元素を調べることが手掛かりとなります。パブロ・ピカソ作《小さな丸帽子を被って座る女性》の調査では、電大チームが絵具の種類を推定しました。



© 2025 - Succession Pablo Picasso - BCF (JAPAN)

キャンパス別 各学科・学系の概要

★学生数は2027年3月卒業予定者数(2025年8月時点)

東京千住キャンパス

未来科学部		
建築学科 男子98名／女子53名	情報メディア学科 男子104名／女子22名	ロボット・メカトロニクス学科 男子124名／女子9名
建築・都市・デザイン分野	情報・通信・ネットワーク分野	機械・ロボット分野
本学科で得られる能力	本学科で得られる能力	本学科で得られる能力
①計画・意匠分野、構造分野、環境・設備分野を中心とする建築学の幅広い専門知識とその応用力 ②さまざまな課題に取り組み解決していく柔軟な思考力、デジタル・ツールを駆使した豊かな表現力 ③課題の発表およびディスカッションを通じて涵養されるコミュニケーション能力	①実践的演習、卒業研究、修士研究を通して洗練される問題発見力・調査力・開発力・論理的思考・情報発信等に関する能力 ②情報学とメディア学の融合によって磨かれる斬新なアイデアの構築能力 ③各種演習、ゼミの中で、情報・状況を的確に共有しながらのプロジェクト遂行能力、コラボレーション能力	①メカトロニクスに関係する機械、電気、情報、および制御工学の基礎知識と技術力 ②組み込み機器開発など、ハードとソフトを統合するシステムインテグレーション能力 ③企画、設計、試作、評価、改善、手を動かし、体得した「ものづくり」実践力
キーワード	キーワード	キーワード
建築設計、地域・都市設計、デジタルデザイン、構造デザイン、耐震設計、環境・設備、省エネルギー、リノベーション など	機械学習、AI、セキュリティ、Web、クラウド、IoT、ビッグデータ、CG、XR、音響、映像解析、自然言語処理 など	システム制御、モデルベース開発、信号処理、コンピュータ、ネットワーク、パワーエレクトロニクス、ロボティクス、知能機械 など
		
未来科学研究科		
建築学専攻 男子50名／女子16名	情報メディア学専攻 男子33名／女子5名	ロボット・メカトロニクス学専攻 男子46名／女子2名



システムデザイン工学部		
情報システム工学科 男子151名／女子10名	デザイン工学科 男子93名／女子41名	工学部第二部(夜間部)
情報・通信・ネットワーク分野	建築・都市・デザイン分野	
本学科で得られる能力	本学科で得られる能力	
①最先端のコンピュータ・ネットワーク技術やサイバーセキュリティ技術を習得し、先進的な情報システムを構築する力 ②「データサイエンティスト」に不可欠な、大量のデータを解析し、必要な情報を引き出して加工する力 ③日進月歩の情報システム工学に対応するため、常に自ら学び続け、考え続けて、問題を解決していく力	①魅力的な生活空間を創造するためのデザイン力とそれを具現化できる技術力 ②多様化・高度化する技術革新に対して柔軟に対応でき、新しい領域を切り開ける工学的応用力 ③使う人の立場に立った、人にやさしい、使いやすい「ものづくり」の実践力	
キーワード	キーワード	
ビッグデータ、ネットワーク、IoT、セキュリティ、ソフトウェア、データベース、データサイエンス、AI、機械学習 など	プロダクトデザイン、ユーザインタフェース、人間中心設計、音響、医療福祉システム、無線通信、3DCG、AR、VR など	
		
システムデザイン工学研究科		
情報システム工学専攻 男子28名／女子3名	デザイン工学専攻 男子9名／女子1名	

工学部					
電気電子工学科 男子141名／女子12名	電子システム工学科 男子105名／女子6名	応用化学科 男子73名／女子28名	機械工学科 男子127名／女子3名	先端機械工学科 男子126名／女子14名	情報通信工学科 男子123名／女子11名
電気・電子分野	電気・電子分野	生命・化学・サイエンス分野	機械・ロボット分野	機械・ロボット分野	情報・通信・ネットワーク分野
本学科で得られる能力	本学科で得られる能力	本学科で得られる能力	本学科で得られる能力	本学科で得られる能力	本学科で得られる能力
①ワークショップ、プレゼンテーション科目を通じて、デザイン能力やコミュニケーション能力を育成 ②JABEE認定カリキュラムに基づく国際的技術者の育成 ③演習・実験を通じた電気回路、電子回路、電磁気学等の電気電子工学全般に関する基本知識の確実な修得と、卒業研究を通しての実践的な応用力	①電子・光・情報に関する幅広い知識を基に電子系のあらゆる分野で活躍できる基礎力 ②実験・実習を通じハードウェアとソフトウェアのバランスの取れた知識を修得 ③ワークショップ、実験、卒業研究を通じて創造力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を修得	①演習、実験などの実践的教育に裏打ちされた基礎学力 ②有機化学、無機・分析化学、物理化学、化学工学を4本の柱とした知識を駆使し、持続可能な社会に貢献できる能力 ③ワークショップや卒業研究で養われた協調性およびコミュニケーション能力	①基礎に重点を置いた教育によるいわゆるつぶしの効く技術者 ②卒業研究を通じて培われる、情報収集力と幅広い応用力 ③幅広い基礎知識によりめまぐるしい技術革新への対応力	①基盤科目と関連分野科目の修得による応用力 ②設計・製図演習による実践力（CAD利用技術者試験） ③少人数グループ討論によるコミュニケーション能力 ④卒業研究を通しての問題解決能力	①情報と通信の両分野の基礎学力 ②実験科目を通じた、ハードウェアとソフトウェアの扱い方 ③プロジェクトや卒業研究を通じた、問題解決能力と発表技術
キーワード	キーワード	キーワード	キーワード	キーワード	キーワード
電気システム制御、大電流遮断、半導体デバイス、電気材料、代替エネルギー、知的システム、医用電子、電気鉄道 など	電子機器、半導体製造装置、集積回路、情報・光通信システム、高機能材料・光デバイス、光計測機器、組み込み機器 など	電気化学、機能性高分子、無機材料、化学工学、生物工学、分析化学、発酵、微生物工学、エネルギー、触媒化学 など	機械、材料、加工、流体、熱、燃焼、制御、振動、設計、生産、省エネ、環境、メカトロニクス、ロボット、安全など	機械設計、メカトロニクス、ものづくり、精密加工、機械材料、生産技術、計測・制御、光学機器、医用・福祉機器、自動車 など	ネットワーク、コンピュータシステム、モバイル、光通信、音響、画像信号処理、情報セキュリティ、知能ロボット など
					
工学研究科					
電気電子工学専攻 男子65名／女子1名	電子システム工学専攻 男子29名／女子2名	物質工学専攻 男子28名／女子13名	機械工学専攻 男子43名／女子2名	先端機械工学専攻 男子23名／女子0名	情報通信工学専攻 男子24名／女子6名

埼玉鳩山キャンパス

理工学部 理工学科					
理学系 男子99名 / 女子26名	生命科学系 男子66名 / 女子36名	情報システムデザイン学系 男子202名 / 女子43名	機械工学系 男子92名 / 女子2名	電子工学系* 男子103名 / 女子7名	建築・都市環境学系 男子100名 / 女子20名
生命・化学・サイエンス分野	生命・化学・サイエンス分野	情報・通信・ネットワーク分野	機械・ロボット分野	電気・電子分野	建築・都市・デザイン分野
本学系で得られる能力	本学系で得られる能力	本学系で得られる能力	本学系で得られる能力	本学系で得られる能力	本学系で得られる能力
①理工系全般に関する基礎知識 ②数学・物理学・化学・数理・情報学に関する専門知識 ③論理的な思考力、および工学上の問題を自然科学に立ち返って分析・解決する能力 ④主・副コース制で広い視野を獲得	①生命現象を分子～細胞レベルで理解し、新薬や医療材料等の開発に役立てる能力と技術 ②大規模な生物情報を解析し、生物がもつ機能を産業利用する能力 ③微生物や酵素を利用して新しい食品加工技術や付加価値製品を開発する能力 ④分析技術やバイオテクノロジーを駆使し、環境浄化に役立てる能力	①C言語、C#、Java、Python等のプログラミング能力 ②ネットワーク、セキュリティ、IoTデバイス等の知識とそれらに基づくシステム構築力 ③人の脳と心の働きについての理解と統計学・データ分析手法に基づく情報分析力 ④「人を楽しませること」に関わる知識・技術と様々なメディアを用いた表現力	①材料・機械・熱・流体の4つの力学からの専門基礎力 ②「設計・解析コース」と「加工・制御コース」の2つの特色あるコースによる高度な専門技術と最先端工学に適應するエンジニアリングセンス ③少人数グループによる演習科目や実験実習などからの問題発見と解決能力	①電気・電子回路、電磁気学を中心に、材料・デバイス、計測・制御、信号処理、プログラミングの基礎知識・スキル ②実験・実習、ゼミ科目を通じた測定・報告・発表の能力 ③電子工学・生体医学の講義・演習科目の知識、ゼミ、研究による技術・スキルをもとにした人間中心の計測・分析・機器設計・製作の実践力	①建設分野全般にわたる総合的な専門知識と専門スキル ②実習・実験・演習を通じて身につける実践力 ③デザイン演習等を通じて養う創造力と柔軟な思考力 ④プロジェクト志向型授業によって培う課題発見力と問題解決力 ⑤JABEE認定プログラムによる専門的な技術力
キーワード	キーワード	キーワード	キーワード	キーワード	キーワード
科学技術を支える理工学(数学・物理学・化学・数理情報学) など	創薬・合成化学、遺伝子工学、免疫学、再生医療、生物情報科学、食品開発、天然物化学、微生物工学、環境浄化、分析化学 など	IoT、XR、計算理論、情報数理、セキュリティ、AI、認知科学、情報デザイン、人間工学、メディアアート、音楽文化 など	制御、ロボット、新材料、自動車、エンジン、振動、耐震、流体、熱、衝撃、加工、生産、計測、解析、安全、環境、AI、エネルギー など	電気電子回路、電子材料、電子デバイス、情報通信、計測制御、医療・福祉機器、パワーエレクトロニクス、メカトロニクス など	建築(意匠、設備・環境、構造)、都市環境(地盤、水理、構造、材料、計画、景観、交通、リモートセンシング) など
					
※2028年3月卒業予定者より電子情報・生体医学工学系へ変更 ※2030年3月卒業予定者より電子情報工学系へ変更					
理工学研究科					
理学専攻 男子11名 / 女子2名	生命理工学専攻 男子18名 / 女子8名	情報学専攻 男子42名 / 女子11名	機械工学専攻 男子47名 / 女子2名	電子工学専攻 男子32名 / 女子2名	建築・都市環境学専攻 男子7名 / 女子6名

1学部6学系 HATOYAMA

*各学科・学系名下に記載の学問分野は、3ページ掲載の「5つの学問分野」に対応しています。併せてご覧ください。

先端科学技術研究科〈博士課程(後期)〉は、 高い水準の研究環境の中で、創造性豊かな研究能力を持つ 技術者・研究者を育成しています。

★学生数は全学年在籍人数(2025年8月時点)

先端科学技術研究科 〈博士課程(後期)〉の概要

★全専攻、就業年限3年
通学キャンパスは東京千住・埼玉鳩山

先端科学技術研究科は、産官学を通じた研究教育機関を担うために、
国際水準の研究環境での学びを提供しています。

専攻間の壁が低く、教員や学生が関連分野の情報を容易に得られる環境を整えています。

先端科学技術研究科〈博士課程(後期)〉専攻の概要

電気電子システム工学専攻

7名 | 学位:博士(工学)

専攻の部門紹介

- 電気機器学部門
パワーエレクトロニクスを基盤とした電気機器の最適運用方法と、新たな制御方法の研究
- 電力システム部門
地球環境を視野に入れた、電気エネルギーの発生・輸送・制御に関する研究
- 計測・システム制御部門
高精度な電子計測技術とそれを用いたシステム制御、生体計測技術に関する研究
- 電子物性・デバイス部門
新たな機能を有する電子材料の創成と、電子デバイスの高性能化に関する研究
- 電子情報処理部門
信号処理、情報処理の理論とその応用に関する研究



情報通信メディア工学専攻

12名 | 学位:博士(工学)

専攻の部門紹介

- 情報通信部門
情報システム、情報処理、通信システムなどの最新の科学技術に関する研究
- システムデザイン部門
データサイエンス、情報ネットワーク、デザイン工学を基盤とする情報工学とシステムデザインに関する研究
- 情報メディア部門
多種多様なコンテンツをデジタルメディアとして効率的に表現する技術と、人間や環境との関連やシステム実装、安全性などに関する最新科学技術の研究

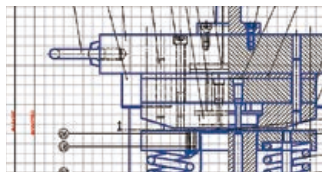


機械システム工学専攻

13名 | 学位:博士(工学)

専攻の部門紹介

- 材料・加工システム部門
構造物に用いられる材料の特性と新しい加工法に関する研究
- 設計・生産システム部門
自律設計システム構築や生産システムに関する研究
- エネルギー・環境システム部門
省エネルギー、環境負荷低減のためのエネルギー変換や新エネルギー開発に関する研究
- 熱・流体システム部門
渦流動現象、エンジン内燃焼や空力現象の解明に関する研究
- 計測・制御システム部門
微小物体から建造物までを対象とした位置計測と運動制御に関する研究
- オプト・メカトロニクス部門
光技術のマイクロ加工・計測・精密機械システム等への応用に関する研究
- マン・マシンシステム部門
医療、福祉などにおける人間と機械との関わりをシステム工学的観点から研究



建築・建設環境工学専攻

4名 | 学位:博士(工学)

専攻の部門紹介

- 建築安全・情報部門
安全で合理的な建築や都市の創成・再生に係る構造学や情報技術について、CAE解析を含めた研究
- 建築環境・設備工学部門
地球環境問題・省エネルギー問題などの社会要請の視点と、人間の心理・生理面の視点から、ハード・ソフトを問わず建築が形成する環境に関する研究
- 環境・計画システム部門
自然環境と共存し持続可能な環境整備を基軸とした国・街づくりに関する研究
- 建築・都市計画部門
少子・超高齢化や多様な価値観に対応した生活環境を創成・再生するための建築・空間・都市の計画やデザインの研究
- 防災システム部門
自然災害から生命・財産を守るため、成熟した社会に相応しい防災システム構築に関する研究



物質生命理工学専攻

5名 | 学位:博士(工学)・博士(理学)

専攻の部門紹介

- 生命工学部門
バイオテクノロジーを基盤技術とし、微生物工学、食品工学、環境生命工学を研究
- 生命科学部門
分子生物学、構造生物学、細胞生物学などを研究し、生命現象を分子レベルで解明する研究
- 応用化学部門
高分子化学、有機合成化学、分子物性学などを学び、環境に適した新素材を研究・開発
- 物質工学部門
固体物性学、光物性学、薄膜工学、半導体工学など基盤的技術の研究
- 数理学部門
自然科学や工学分野への応用数学、AIやデータサイエンス分野などを含む数理情報学に関する研究



先端技術創成専攻

9名 | 学位:博士(工学)

専攻の部門紹介

- 人間適応型メカトロニクス部門
人間と知能機器(ロボット等)との関わりをシステム制御工学、情報工学、ロボット工学などから考究し、人間・機械協調システムの構築を図る新技術を創成
- 医用電子工学部門
医療・福祉・代替医療に関する基礎・応用技術を、医工学、電子工学、制御工学、人間工学、人体科学などから考究し、次世代に活用できる高度新技術を創成
- 都市防災工学部門
人間の活動空間の環境安全に関する技術を、振動工学、地盤工学、建築学等から考究し、環境の安全・安心を生む次世代の新技術を創成



情報学専攻

17名 | 学位:博士(情報学)

専攻の部門紹介

- コンピュータ科学部門
計算の理論、アルゴリズムの理論、人工知能、機械学習、データベース、ネットワーク、分散並列システム等の情報科学を、理学と工学の両面から研究
- メディア情報学部門
社会と個人を媒介するメディアについて、認知科学、デザイン学、機械学習、人間工学、情報コミュニケーション、ソフトウェア開発技術など、情報工学と情報社会学の両面から研究



数理学専攻

1名 | 学位:博士(理学)

専攻の部門紹介

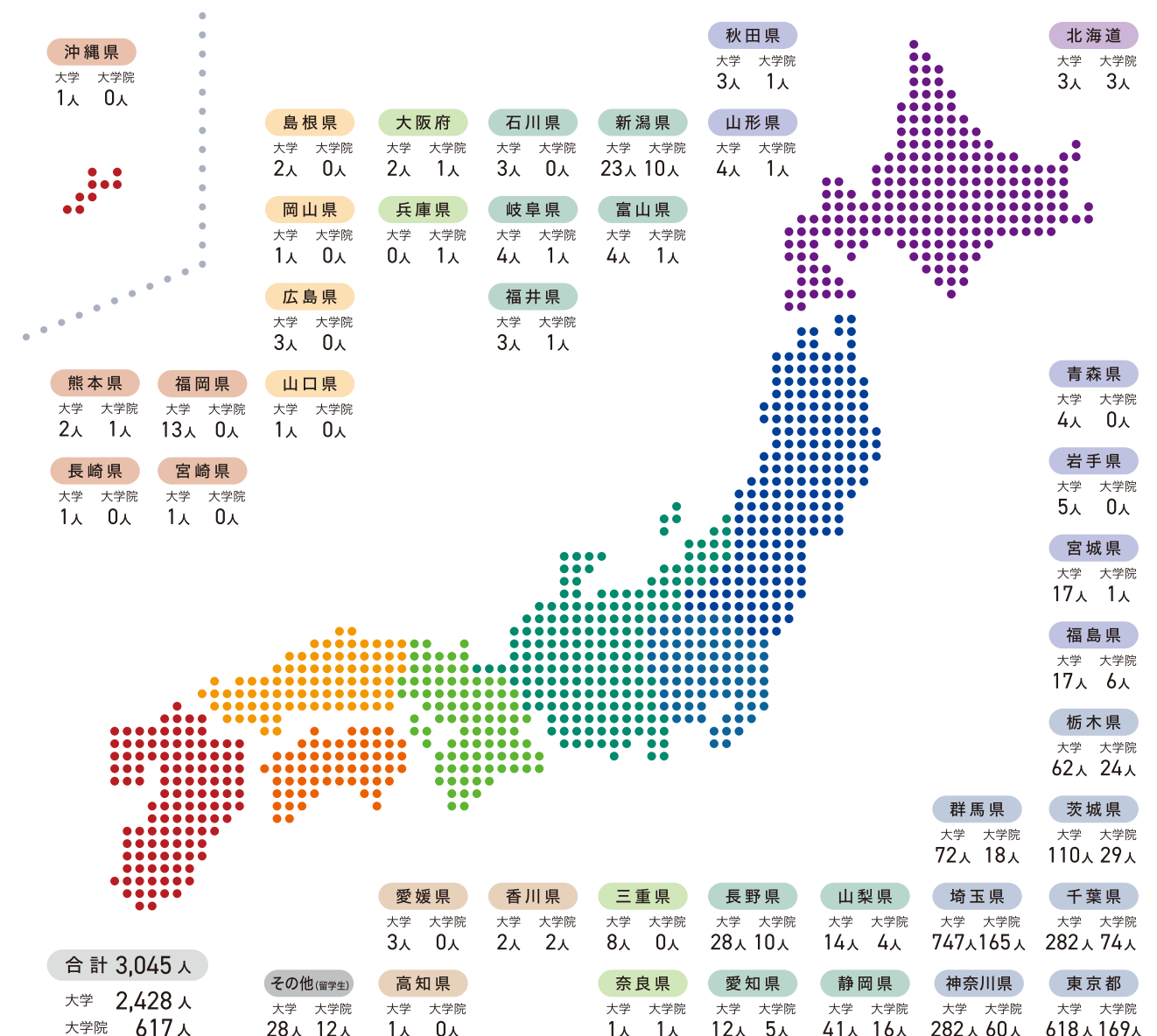
- 共通部門
博士論文の指導および、広く数理学の学識を高めるための研究教育
- 数学部門
数学の基本分野に関する考究と、その応用分野を含む研究
- 化学物理学部門
理学の新しい展開の一分野である物質科学の理論と応用を考究
- システム科学部門
工学はもとより自然界や人間社会などの複雑な現象をモデル化し、その抽象的なシステムをシステム理論および情報論的立場から考究

※2024年秋より学生募集停止

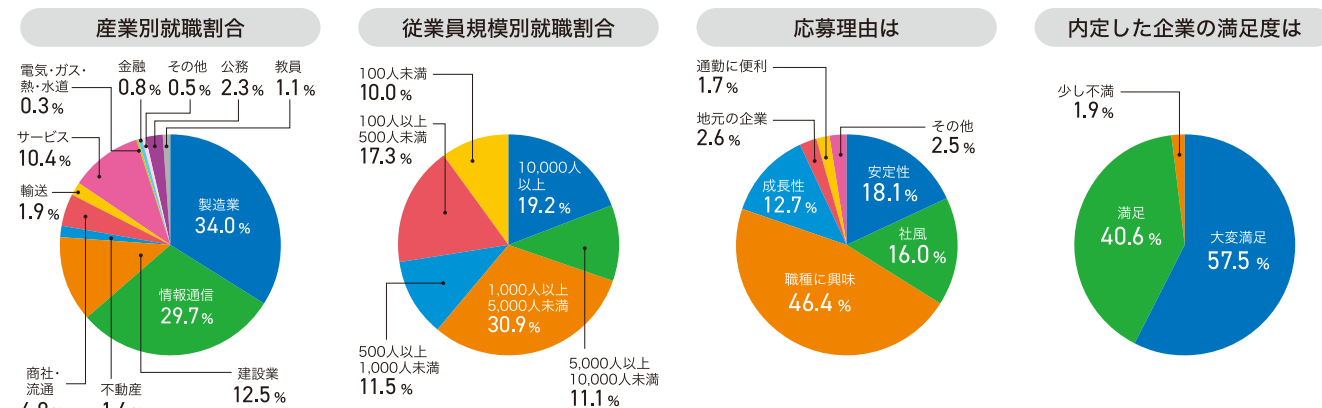


全国から集まった学生が、ものづくりの経験を重ねながら 様々な知識と技術と向き合い成長を続けています。

2027年3月卒業予定者の都道府県別在籍状況 (2025年8月時点)



各種データ (2025年3月卒業生)



学生が社会で「自立」するために、自ら考え、自ら動く、主体性を育む就職支援体制を整えています。

充実の電大キャリアサポートプログラム

キャリアデザインプログラム

1年次

自分について知る

- 新入生オリエンテーション
- キャリアガイドブック
自分の現在と将来を見つめ、大学生活を主体的に過ごせるよう支援します。
- コミュニケーション講座
話の聞き方、情報発信の仕方などコミュニケーションについて理解を深めます。

2年次

将来について考える

- 低学年次生向けキャリア支援
「文章力」「コミュニケーション力」「基本マナー」「語学(英語)力」など、就職活動の前段階となる基礎力を身につけます。実体験を交えた先輩によるアドバイスも好評です。
- キャリアプランを考える

キャリアデザインプログラム

一人一人が「キャリア」を考え、自分自身で「描ける(デザインできる)」ようになる「きっかけづくり」のためのプログラム。興味のある人であれば、誰でも参加できます。



キャリアプランシートの作成

キャリアについて考えるアウトプットシートで、学部1年生から4年生まで使用できます。将来のなりたい自分をイメージして、課題を考え計画し、達成状況、自己評価まで毎年入力します。入力した内容について教職員がコメントします。



3年次

進路を具体的に考える

- インターンシップの理解
 - 就職ガイダンス
 - 就職活動対策講座
 - 業種・職種研究セミナー
 - 各種筆記試験対策講座
 - 教職員による個別相談など
 - U・Iターンガイダンス
 - 公務員ガイダンス
 - 女子学生就職ガイダンス
(先輩学生・卒業生との懇談形式)
- *上記ガイダンスなどの名称は、変更する場合があります。

エントリーシート対策講座

エントリーシート対策講座では、エントリーシートや志望動機の書き方、自己アピールの方法を解説します。



求人検索NAVI操作講座

学生の就職活動の入口となる「求人検索NAVI」活用のため、操作講座を実施しています。求人受付NAVIよりご登録いただいた求人票の閲覧、ガイダンス申込、先輩の就職活動体験記の閲覧等、自身の就職活動に役立てるよう指導しています。



4年次

社会に出る準備をする

- 学内企業説明会
- 就職支援講座
- ビジネスマナーセミナー
- 各種資格取得支援

社会人スターティングブック

社会に出る前に知っておきたいビジネスマナーや給与の仕組み、就業規則など、これから社会人生活を送るうえで欠かせない情報が満載。



インターンシップで内容の濃い就業体験

学生が夏季インターンシップで最大限の学びを得られるよう、4～5月には事前ガイダンス、6月には実践的なインターンシップ選考対策講座を実施。参加後も振り返りを行うことで、インターンシップを通じた学生の成長を後押しします。

4月

インターンシップガイダンス インターンシップ 実施企業情報公開

夏に実施されるインターンシップに向けて、春から準備を進めます。あらかじめインターンシップ先企業を研究し、自身の目的を明確にします。

6月



自己分析を通じ、自己紹介書を記入したり、面接の練習を行います。またビジネスマナーについても学びます。

7月

実施先企業の決定

8・9月

インターンシップ実施

業界・職種理解をすすめ、社会に出ることについて考えます。

10月



インターンシップ実施後、事前準備で設定した自らの課題や目的に対して、どのような成果が得られたか、振り返ります。



》採用ご担当者の皆様へ

就職・キャリア

<https://www.dendai.ac.jp/about/career/>

東京電機大学では、学生に対してWebを利用した情報提供を積極的に行っています。

企業様が開催されているセミナーや説明会のご案内といった様々な情報のご提供をお願いしております。

各キャンパス就職担当部署宛てにメール等を通じて電子データにてご提供くださいますようお願いいたします。

就職・キャリアの ホームページご案内

東京電機大学ホームページでは、企業様向け専用ページをご用意しています。「企業・研究機関の方」ページでは、求人受付やインターンシップ受付等の各種ご案内提出のほか、各学科・学系窓口と就職担当教員の連絡先をご確認いただけます。



TDU 企業・研究機関の方

求人票ご登録のお願い

東京電機大学では、Web求人受付システム「求人受付NAVI」にて、求人票を受け付けています。「求人受付NAVI」では、求人票の新規登録をはじめ、採用終了のお知らせも行うことができます。求人票の内容変更も即時に反映されるので、ただちに学生へ周知することができます。また、セミナーのチラシやパンフレットなどの資料添付も可能です。



ご登録開始日 | 2025年12月1日

求人公開日 | 2026年3月1日



TDU 求人のお願い

インターンシップ等のお願い

学生が職種・業種を理解するにあたって、インターンシップが重要になっています。東京電機大学では、就業観と社会人基礎力が身に付くように、5日以上のインターンシッププログラムを特に積極的に紹介しています。インターンシップ・オープンカンパニー・職場見学会などの受け付けについては、東京電機大学ホームページにて順次ご案内いたします。



TDU インターンシップのお願い

大学へのご訪問時のお願い

本学就職担当部署と各学科・学系へのご来訪を承っております。必ず事前のアポイントメントをお願いいたします。お約束のないご来訪及び学内へのご入構はご遠慮いただいております。なお、お申込みいただく前に、本学求人情報システム「求人受付NAVI」にて求人票のご登録をお願い申し上げます。

東京千住キャンパス 学生支援センター(キャリア支援・就職担当)へのご訪問

ホームページの「東京千住キャンパス ご来訪日程調整フォーム」よりお申込みを承っております。オンライン・対面のいずれかにて承ります。

埼玉鳩山キャンパス 理工学部事務部(学生厚生・就職担当)へのご訪問

理工学部事務部(学生厚生・就職担当)まで電話にて①面談方法(オンライン or 対面)②面談希望日時の内容をご連絡ください。



TDU 本学へのご来訪について

就職担当教員とのご面談

学科・学系事務室または就職担当教員宛てにご連絡をお願いします。就職担当教員の連絡先につきましては、ホームページの「就職担当教員／就職担当部署一覧・連絡先」をご確認ください。



TDU 就職担当教員

学校行事のご案内(参考:2025年度)

※2025年度日程を掲載しております。2026年度行事予定につきましては、本学ホームページ「年間予定」(<https://www.dendai.ac.jp/about/campuslife/schedule.html>)に掲載予定です。キャンパス・学部ごとに日程の異なるものもございますので、詳細については同じくホームページよりご確認ください。

	システムデザイン工学部/ 未来科学部/工学部	工学部第二部(夜間部)	理工学部
	東京千住キャンパス		埼玉鳩山キャンパス
前期授業	4月11日～7月26日	4月7日～7月26日	4月11日～7月22日
夏季休業	8月8日～9月12日	8月8日～9月7日	8月2日～9月12日
後期授業	9月13日～2026年1月13日	9月8日～2026年1月13日	9月13日～2026年1月13日
創立記念日	9月11日		
学園祭	11月1日・2日(旭祭)		11月1日・2日(鳩山祭)
冬季休業	12月27日～2026年1月7日		

就職担当部署

学生支援センター
《キャリア支援・就職担当》
東京千住キャンパス

TEL:03-5284-5344 FAX:03-5284-5392
E-mail:shushoku@jim.dendai.ac.jp
〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

理工学部事務部
《学生厚生・就職担当》
埼玉鳩山キャンパス

TEL:049-296-0489 FAX:049-296-0501
E-mail:ri-shushoku@jim.dendai.ac.jp
〒350-0394 埼玉県比企郡鳩山町石坂